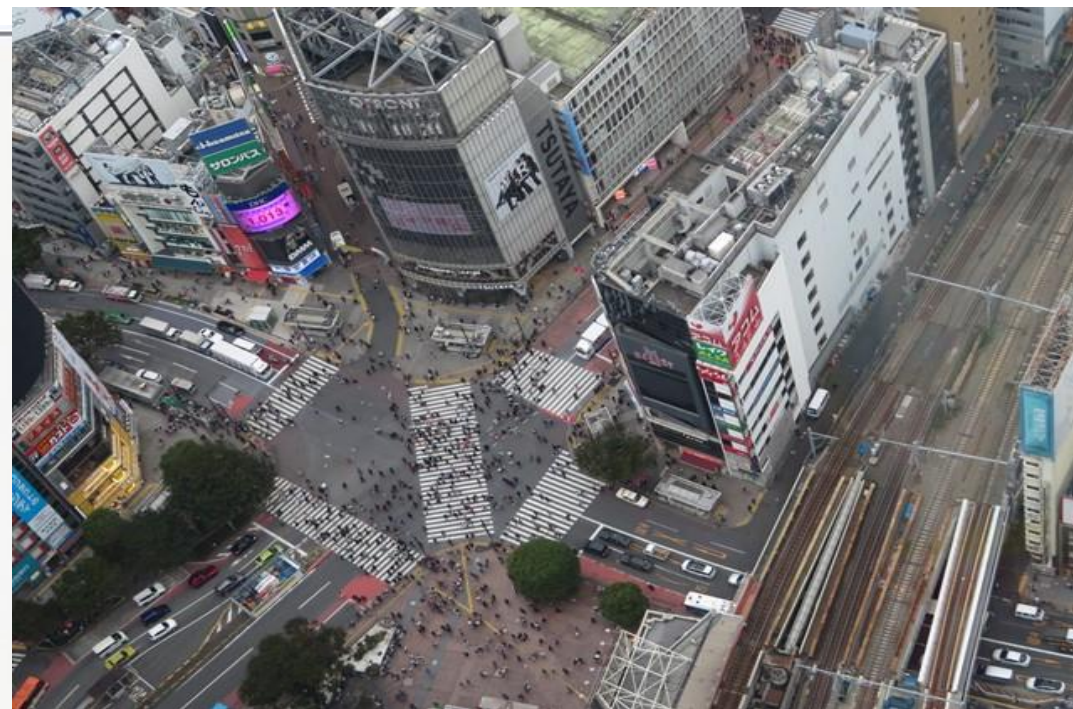


渋谷スクランブル

再開発進む東京・渋谷の JR 駅と東横線旧駅の真上にそびえ立つ地上 47 階、高さ 230 ㍎の超高層ビル「渋谷スクランブルスクエア」東棟が 2019 年 11 月 1 日に開業した。訪日観光客に Shibuya Crossing で知られるスクランブル交差点を眼下に臨み、屋上は 360 度の見晴らしで富士山、スカイツリーなどを展望する壮大な眺めだ。地下 2 階から地上 14 階まで 210 余のショップ&レストランが入り、上層階は IT 企業などのオフィスが入居済み。東棟に次ぎ 8 年後に中層 10 階ほどの中央棟と西棟が完成し渋谷駅大改造は完結する。

この 3 棟がまたぐ駅舎も大きく変わる。これまで乗り換えが複雑で分かりにくいと不評だが、駅南側に約 350 ㍎離れた JR 埼京線ホームを 20 年春に山手線ホームと並ぶ位置へ移し、次いで山手線も内回りと外回りのホームを 1 つにまとめる。地上 3 階を走る珍しい地下鉄の東京メトロ・銀座線はこの新年早々に現ホームより 130 ㍎東へ明治通り上空に移る。JR と交差する国道 246 号の幅を広げ、東西をつなぐ自由通路を整備する。日本初の食品名店街「東横のれん街」で親しまれた駅直結の東急百貨店東横店は再開発に伴い 3 月末に閉店し 85 年余りの歴史に幕を閉じる。

渋谷駅周辺開発は 7 年前、プラネタリウム円形ドームがシン



渋谷スクランブルスクエア 4 6 階からスクランブル交差点を見下ろす

ボルだった元東急文化会館の渋谷ヒカリエ開業で始まり、渋谷川に沿う東横線跡のストリームとブリッジ、南口駅前に衣替えした東急プラザが入るフクラス、明治通りのキャスト、道玄坂上のソラストがすでに開業、今後 2 つの再開発を加え 9 つのカタカナ造語プロジェクトが進む。渋谷 PARCO も今年 11 月に新装なった。いずれも厳選されたブランド・有名店や時流の店舗など世界に誇る商業施設だが、似たような高級店がずらり並ぶようにも見える。高層ビルの中にも女将が仕切る、古き良き赤提灯や縄のれんの賑わい横丁が復活すれば、さらに楽しい。

文・写真 林 莊祐